

賛成

市民クラブ

平成28年度は、小中併設校、体育館建設といったビッグプロジェクトが終了した中で、引き続き財政規模が500億円を上回りました。急増する人口に対して、保育園などの整備が必要になったことと、高齢化率上昇で、経常的経費増大があることとです。それに対し、財政調整積立基金を堅持したことなど、好材料もあります。また、市債の発行は、発行自体を次世代への先行投資と考えた場合、長く住み続ける仕組み作りが重要です。さもないと、将来的に人口が

賛成

公明党

平成28年度の決算は予算規模が縮小し、国庫補助金や地方交付税が減額となったものの、つくばエクスプレス沿線開発に伴う納税義務者のさらなる増加、個人市民税は、前年度比4.0%増、市税全体では約11億円の増額となりました。子育て環境の充実に向けた取り組みが、人口増、黒字決算に繋がったものと評価します。市税徴収率では、新たな滞納者を出さないという姿勢で、収納の向上に努められ、県内二位となったことは評価します。平成28年の決算を踏

会派に所属しない議員

阿部治正議員 以下の理由で反対します。①生活保護、国民健康保険、介護保険が高齢者の二極化に対応出来てない。②第2のセーフティネットとされる生活困窮者自立支援の取組が弱い。③女性と子どもの貧困問題が軽視されている。④社会問題の複雑化に対応するマ

公明党

まえ、3点要望します。①ごみ焼却施設については、日常点検をより一層強化し、バランスよく稼働させ、過度の負荷のない運転管理を図ること。②防犯カメラ設置目的については、危険な通学路の安全・見守りの観点からも検討し、さらなる拡充を図ること。③「学ぶ子にこたえる、流山市」になるためにも、入学準備貸付金事業については、さらなる周知を図るとともに、利用者の視点に立った制度の改善等を図ること。以上3点を要望し賛成とします。

市政に関する一般質問

平成29年第3回定例会の一般質問には、22人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。



おいしくなった水道水のPRについて
自由民主党 中村 彰男

問 北千葉広域水道企業団では、高度浄水処理を行っているが、市民の大半はまだ高度浄水処理とは何かが分かっていないのでは



CIの制定を進めてはどうか
流政会 野田 宏規

問 流山市第2期シティセールスプランを見ても、流山のブランドを体系化しようとしていることがわかります。そこで、団体の特性や独自性を統一させて社会に発信する、CI(コーポレート・アイデンティティ)の制定を進めてはどうか



つくばエクスプレスの高架下の活用について
流政会 大塚 洋一

問 高架下を壁面緑化なども多く取り入れた、溢れるような緑の歩行空間や公園や各種施設を整備し、そして、夜には「切り絵行灯」のようなデザ



議会全体の合意事項は最優先に
自由民主党 加藤 啓子

問 予算審査で議会全体の合意事項としている、北部公民館、東部公民館のエレベーター設置は最優先で予算を取るべきと思うがどうか。また、福祉会館の備品や駐車場台数は福祉の名にふさわしくばらつきのないよう整備すべきと思うがどうか



流山市議会へ
宮崎県宮崎市議会
宮崎県日向市議会
熊本県熊本市議会
兵庫県西宮市議会
東京都6区市合同
公明党女性議員
埼玉県草加市議会
埼玉県三郷市議会
千葉県鴨川市議会

健康福祉部長 福祉会館
8月16日から11月15日までの間に、議会改革等について行政視察にお越しいただいた皆さまです。